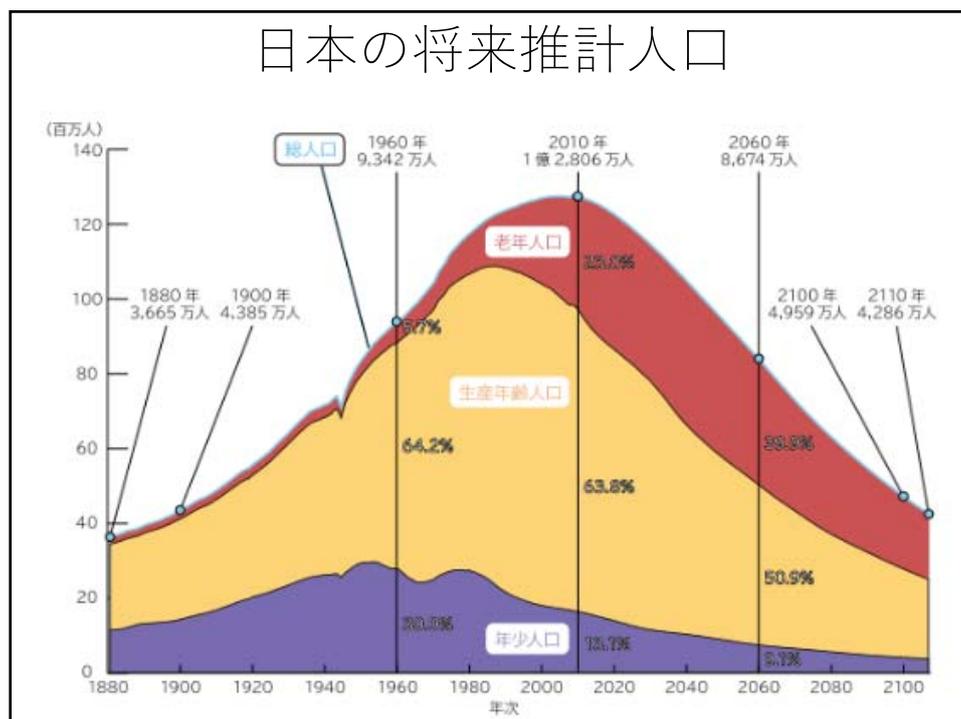


地域包括・共生型

認知症ケアパスの ススメ

社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター 佐藤信人

- 人口構造の変化
- 世帯（家族）の変化
- 認知症の人の増加
- ※ 地域包括ケアシステム
- ※ 地域共生社会
- ※ 認知症ケアパス



新オレンジプランの基本的考え方

「認知症の人の**意思が尊重され**、**できる限り住み慣れた地域の良い環境**で**自分らしく暮らし続ける**ことができる**社会の実現を目指す。**」

認知症の人の意思の尊重
→「認知症の人を大切にする」

良い環境
→「人々の支援や社会サービスがある地域であれば、」

自分らしく暮らし続ける
→「認知症になっても家族・地域社会から認められ、切り離されることがない。」

認知症ケアパス

○新オレンジプラン

「状態に応じた適切な医療・介護サービス等の提供の流れ」

○ケアの流れを変える

「認知症になったら病院や施設で暮らさざるを得ない」



「認知症になっても住み慣れた地域の良い環境で暮らす」

○「認知症になっても、住み慣れた地域の良い環境で暮らす」ことができる？

○地域住民の意識が決める

「重い認知症になっても、住み慣れた我が家、家族・友人がいる地域で暮らし続けたい！」

それ「ワガママ」？

{	YES!	どっち？
	NO!	

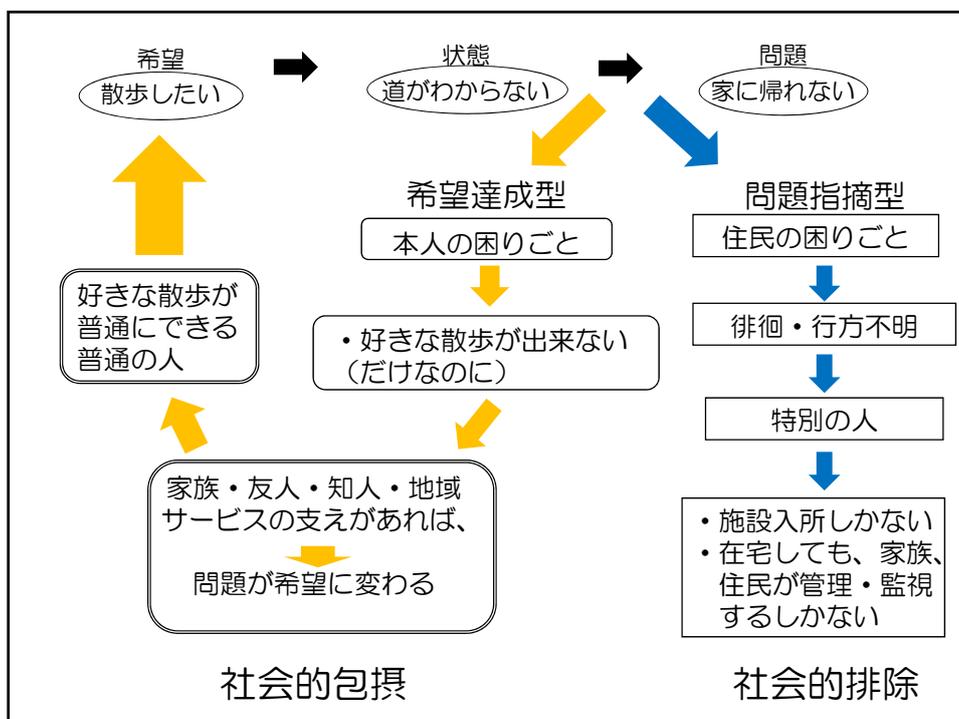
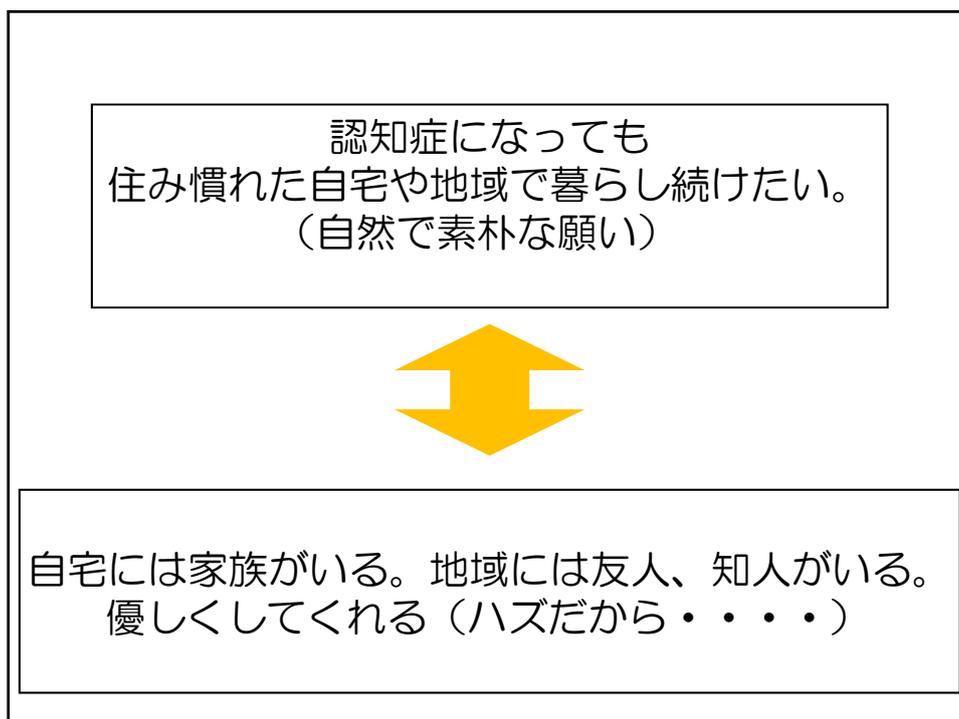
認知症の人とその家族を
地域で支える

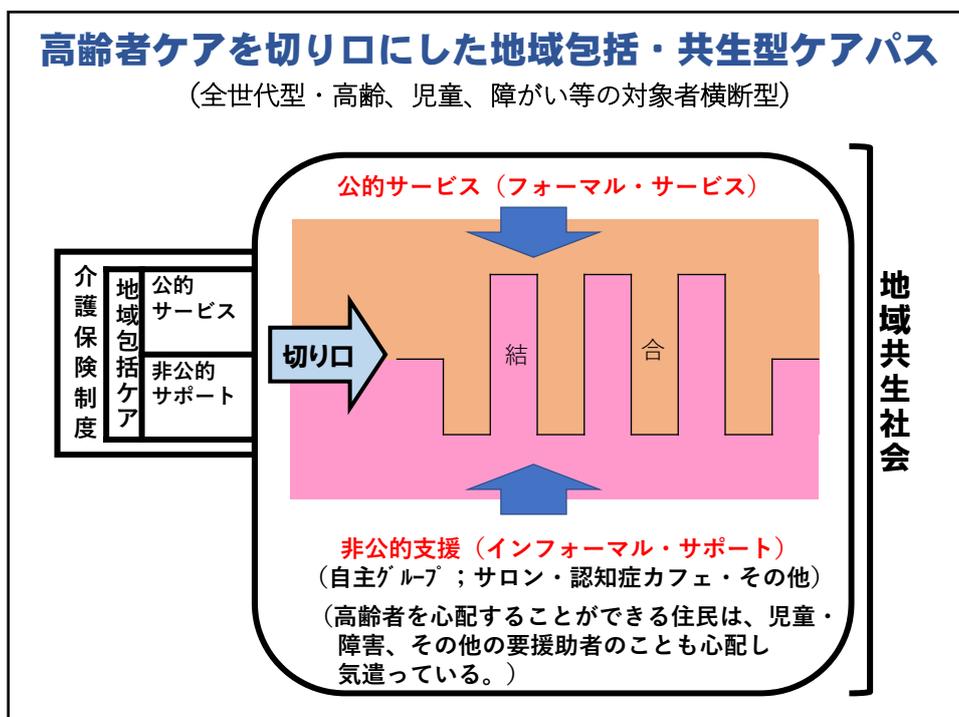
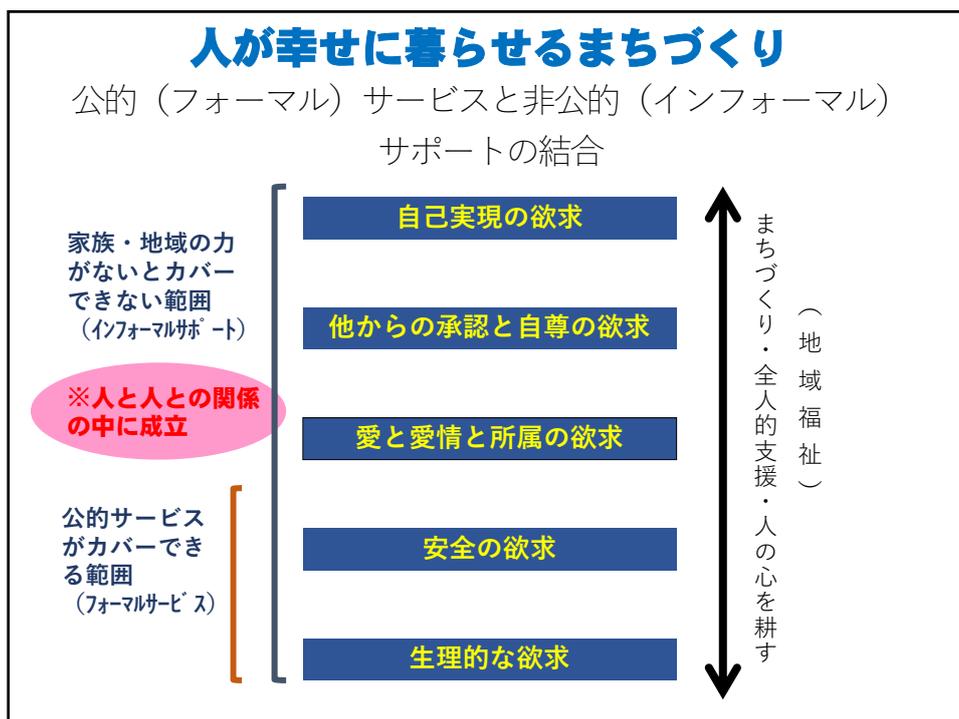


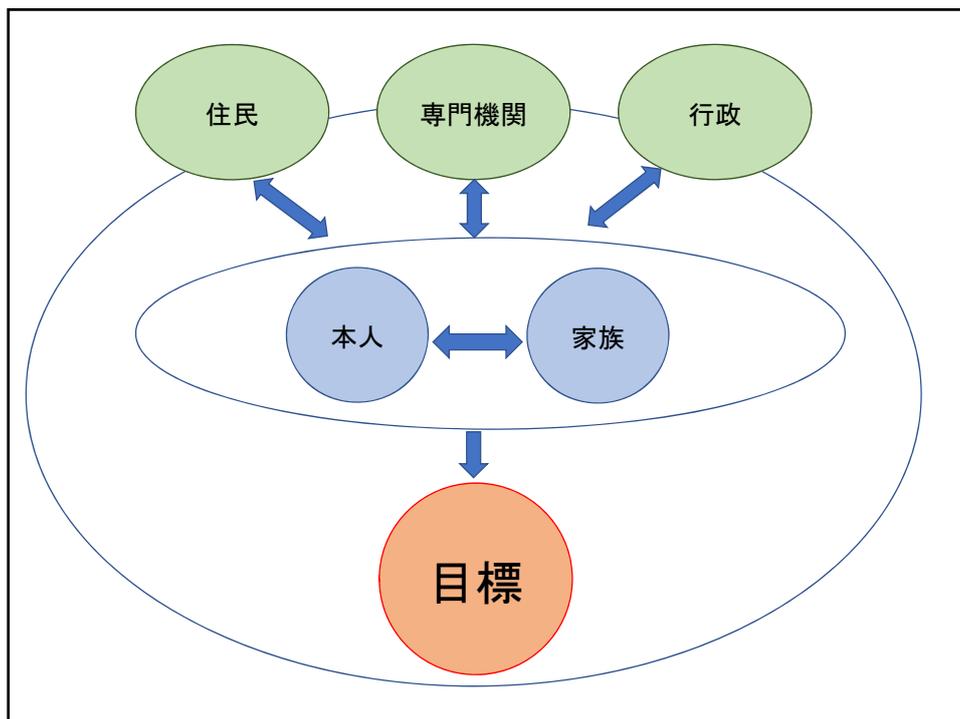
行政サービスのみで
できるか？



自宅・地域で**幸せ**に暮らせるか？







区分	元気	→	重度
本人			
家族			
友人			
近隣			
町内会			
商店銀行			
専門機関			
行政			

↓ 役割 ↓

地域包括・共生型ケアパスづくりのワークシート

※力は外からやっこない。力は私たちの内にある！
※自分の町のことだから、自分達で考える！

私はここにいる

内容	進行	段階				
本 人						
家 族						
地 域 ・ 住 民 ・ 老 人 クラブ ・ P T サ ー ク ル ・ ~ ~ ~ ~ ~						
地 域 ・ 資 源 ・ 商 店 配 達 ・ 新 宅 配 便 ・ 銀 行 ・ 郵 便 局 ・ 警 署 ~ ~ ~						
専 門 機 関 ・ 公 民 館 開 設 業 所 ・ 医 療 機 施 事 ・ 介 介 社 協 会 ~ ~ ~						
行 政 ・ 地 域 支 ・ 保 健 委 員 会 ・ 保 生 員 ~ ~ ~						

※地域にあって役に立つものは、全て社会資源として参画 N / S A T O

○競合→協働（皆で幸せを追求）
※ 互いに争わず共に夢みる

- 第3の分権
- 強制 → 共生
- 支援すれども規制せず

○「力」は外からはやっこない
「力」は、内にある。

○**地域共生社会の定義「ニッポン一億総活躍社会
(閣議決定)」**

「**子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会**」

○**佐藤の考え**

「**あなたが幸せでなければ、私は幸せではない**」という思い遣りにあふれた住民で満たされた地域・街

「**我が事・丸ごと**」の本質(佐藤)

- 本質:「人々に、たとえ、生活していく上で様々な支障があっても、**普通に、幸せに暮らせる社会**」の理念
→**住民の参画が必須**

我が事:「**自分のことではない、他人のことなのに、その人の、心の傷、痛み、不安などを、自分のこととして感じ取ることができる気持ち**」をもった住民がたくさんいる。

丸ごと:

- ①**児童・高齢・障がいなど、人の一面だけみたサービスだけではなく、一人の生活者として、その人全体をみる(丸ごと)**」仕組みがある。
- ②**公的で専門的なサービスと、住民の自発的な支援を束ねて総合的に提供する(丸ごと)**」仕組みがある。
※**人は専門的なサービスだけでは幸せになれない!**
※**人は、人によってこそ幸せになる!**

認知症の人は、人々の優しい気持ちを
引き出してくれる

“地域の宝物”



最大の敵は “無関心”

○地域福祉推進の定義(社会福祉法第4条)

- ①地域福祉推進の目的→**ノーマライゼーション**の地域社会の創造
- ②それを阻害するのが地域の「生活課題」
- ③その課題を解決する主体は、**地域住民、福祉事業
経営者、ボランティア団体等の三者**

※**地域住民の参画必須＝地域共生社会と同じ**
→共通するのは「**人が人を思い遣る**」という「**人と人とのつながり**」の価値

- 地域共生社会を「**キレイゴト**」にするか否かは住民の意識次第！ **最大の敵は「無関心」!**
※理念を地域福祉の実践「**過程**」で実現！

○2つのケアプラン

ギャップが市内に開発すべきサービス・サポート



それを知るのは、市民

それを引き出すのが、介護支援専門員、
地域包括支援センター等



アセスメントから引き出す
市民の声から引き出す



●本当に引き出したいのは、「市民の力！」